



第6700号

●北海道新聞函館支社●

情報提供は ☎ 0138・32・5193
 フリーFAX 0120・324・072
 電子メール minamikaze@hokkaido-np.co.jp
 掲載写真の購入は ☎ 0138・32・5118
 有料広告は ☎ 0138・32・5124

道高校ビジネス計算大会

珠算も電卓も

函商高に栄冠

函館商業高校の珠算部が、6月5日に開かれた第74回道高校ビジネス計算競技大会(道高等学校長協会商業部会など主催)で、珠算競技と電卓競技の両部門の団体と個人で優勝を果たした。コロナ禍で、初のリモート開催となった今年の大会を制し、7月末に開かれる全国大会への切符を手にした。

(内田晶子)



珠算・電卓の両部門で全国出場を果たした函商高珠算部のメンバー

初のリモート開催 「全国優勝狙いたい」

道大会は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、昨年は開催中止。今年は札幌開催を予定していたが緊急事態宣言発令のため、急ぎよオンライン開催に切り替えられた。珠算競技に5校13人、電卓競技には4校19人が出場し、各高をビデオ会議アプリ「Googleミート」でつないで一斉に問題を解く形式で行われた。

競技は珠算、電卓共に普通計算と文章題の応用計算を制限時間内に解き、1人600点満点で上位3人の合計が団体の成績となる。

同高珠算部からは、両部門に計16人が出場。珠算の部は橘雅さん(3年)が410点で個人優勝、2等の辻恋さん(3年)と3等の島津諒雅さん(2年)との合計980点を獲得し、2014年以来の団体優勝に輝いた。

電卓の部は阿部美由紀さん(3年)が500点で個人優勝、2等の浅井友菜さん(3年)と小宮みなみさん(3年)との合計は1420点になり、2位と700点もの大差をつけ13年以来8大会連続の優勝を果たした。団体と個人は重複出場ができないため、全国大会は団体のみの出場となる。

珠算で優勝した橘さんは初めてのリモート開催に「普段は会場にいろいろな学校の生徒がいる緊張感があったのでリラックスできた反面、相手がどのくらいのスピードでやっているか状況を感じ取れず不安だった」と話す。

コロナ禍で部活の時間が短縮され、大会に向けた練習は自宅で解いて分らなかったところを翌日、学校で教え合うことが多かった。また2年生は昨年大会がなかったため、初めての大会で緊張したという。

電卓で優勝した阿部さんは「昨年はコロナで中止になり、当時の3年の先輩たちは大会ができずに部活が終わってしまった。先輩たちの分も優勝したいと思った」と今回の大会への思いを語る。

全国大会は7月23日。各都道府県ごとに出場者を1会場に集め、オンラインでつなぐリモート開催で、北海道は函館商業高校が会場となる。部長の小林海恋叶さん(3年)は「全国優勝を狙いたい」と意気込んでいる。